

日本雑草学会 第 65 回大会 プログラム

1. 会期

2026 年 3 月 25 日（水）～27 日（金）

2. 会場

3 月 26 日（木）～27 日（金）

秋田県立大学秋田キャンパス

（住所：〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野街道端西 241-438）

3. 日程

3 月 25 日（水）

17:00～18:30 若手の会（秋田拠点センター アルヴェ 4 階 洋室 C）

3 月 26 日（木）

8:50～ 受付（共通施設棟 1 階，11 時から大会本部）

9:50～11:50 一般講演 A 会場（M216 教室），B 会場（M204 教室），C 会場（M109 教室）

12:00～13:00 クロップライフジャパン ランチョンセミナー L 会場（A303 教室）

各種委員会 A 会場（M216 教室），B 会場（M204 教室），C 会場（M109 教室）

13:00～14:00 ポスター発表（奇数番）

ポスター・展示会場（共通施設棟 2 階：大会議室，A211 教室）

14:10～15:55 一般講演 A 会場（M216 教室），B 会場（M204 教室），C 会場（M109 教室）

16:15～16:50 会員総会，学会賞授賞式 S 会場（講堂）

16:50～17:25 受賞講演

技術賞 受賞者：門谷淳二¹，○田丸洋²，吉野康佑²，佐伯聡一²，青山良一³，眞鍋陽平³

（¹元 三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社，²三井化学クロップ
&ライフソリューション株式会社，³全国農業協同組合連合会）

業績名：水稲用除草剤シクロピリモレートおよびその混合剤の開発

座長：古原 洋（ホクサン株式会社）

奨励賞 受賞者：太田健介（住友化学株式会社）

業績名：雑草の除草剤反応における標的酵素遺伝子の量的効果に関する研究

座長：黒川俊二（京都大学大学院 農学研究科）

19:00～21:00 懇親会（秋田キャッスルホテル，秋田駅西口から徒歩 7 分）

3月27日(金)

8:50～ 受付(共通施設棟1階, 10時から大会本部)

9:30～10:30 ポスター発表(偶数番)

ポスター・展示会場(共通施設棟2階:大会議室, A211教室)

10:45～12:00 一般講演 A会場(M216教室), B会場(M204教室), C会場(M109教室)

12:00～13:00 各種委員会 B会場(M204教室), C会場(M109教室)

13:00～14:30 ミニシンポジウム A会場(M216教室)

「稲作雑草管理スマート技術の研究開始から社会実装に至る道程

—魔の川・死の谷・ダーウィンの海の突破における雑草研究の寄与を考える—

オーガナイザー:吉岡俊人(新潟食料農業大学)・高橋宙之(西日本農業研究センター)

演者:中村哲也(株式会社NEWGREEN)・田邊大・屋比久貴之(東北農業研究センター)

14:35～16:05 ミニシンポジウム A会場(M216教室)

「雑草ゲノミクスーゲノム解読が拓く雑草研究の新展開—

オーガナイザー:岩上哲史(東京農工大)・佐藤光彦(かずさDNA研究所)

4. 会場案内

〈会場アクセス〉

秋田県立大学秋田キャンパスまでの交通経路

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野街道端西 241-438

秋田キャンパスへの主な交通手段

- ・電車にて：秋田駅で奥羽本線あるいは男鹿線に乗り、追分駅（所要時間 15 分）で下車し、徒歩 20 分。途中に少し急な坂があります。タクシー 5 分。タクシー移動を予定される方は、事前の予約をお勧めします。新昭和タクシー（018-873-2721）

3月26日（木）

朝：秋田駅 8 時 52 分 → 追分駅 9 時 8 分

夕：追分駅 18 時 8 分 → 秋田駅 18 時 24 分

3月27日（金）

朝：秋田駅 8 時 52 分 → 追分駅 9 時 8 分

夕：追分駅 16 時 36 分 → 秋田駅 16 時 54 分

追分駅 17 時 4 分 → 秋田駅 17 時 22 分

*2月1日時点の情報です。最新の情報をご確認して下さい。

- ・自動車にて：秋田北 IC，または昭和男鹿半島 IC から約 15 分。会場には十分な数の駐車場があります（無料）。車を翌日まで駐車することもできます。
- ・大会バスにて（事前予約者のみ利用可能です。当日の受付は行っておりません。）

3月26日（木）

朝：秋田駅 8 時 30 分発（秋田駅東口バスターミナル 5 番乗り場）→ 秋田キャンパス 9 時 10 分着

夕：秋田キャンパス 17 時 50 分発 → 懇親会場経由 → 秋田駅 18 時 30 分着

3月27日（金）

朝：秋田駅 8 時 30 分発（秋田駅東口バスターミナル 5 番乗り場）→ 秋田キャンパス 9 時 10 分着

夕：秋田キャンパス 16 時 20 分発 → 秋田駅 17 時 20 分着

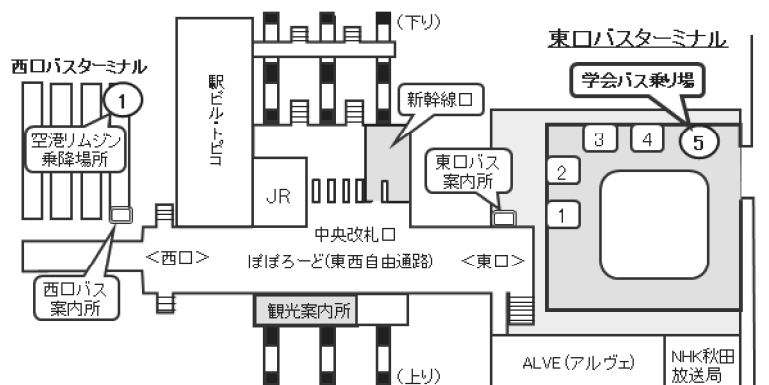
5. 会場案内図

- ・ 秋田キャンパスまでのアクセス

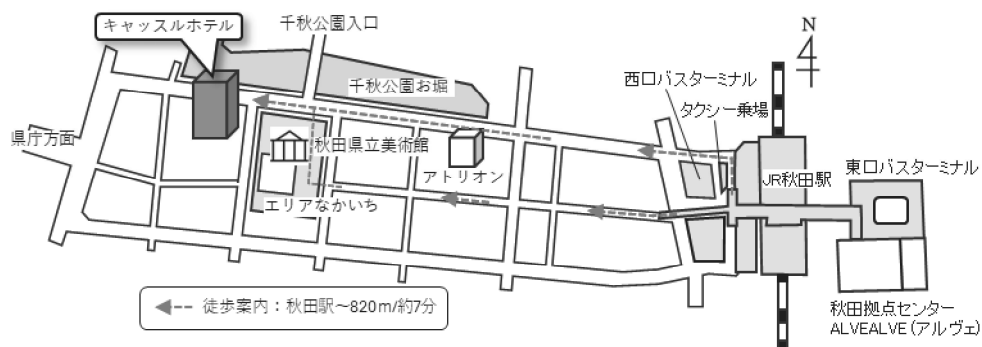
https://www.akita-pu.ac.jp/about/access/acs_aki



大会バス乗り場（秋田駅東口バスターミナル5番乗り場）



懇親会会場（秋田キャッスルホテル，秋田駅西口から徒歩7分）



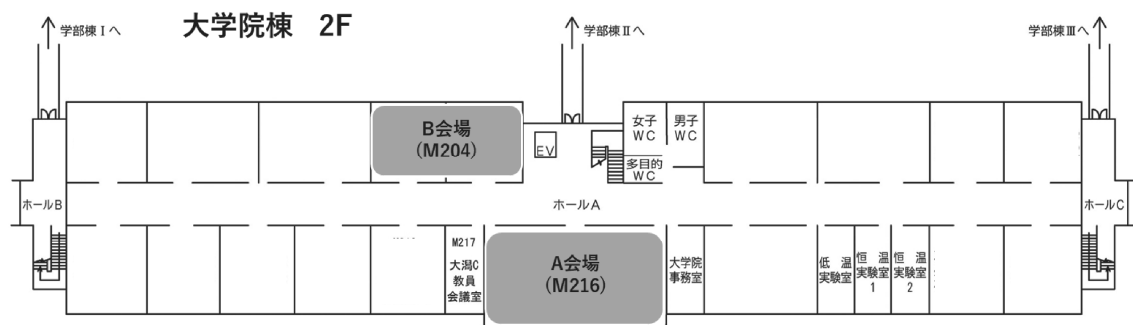
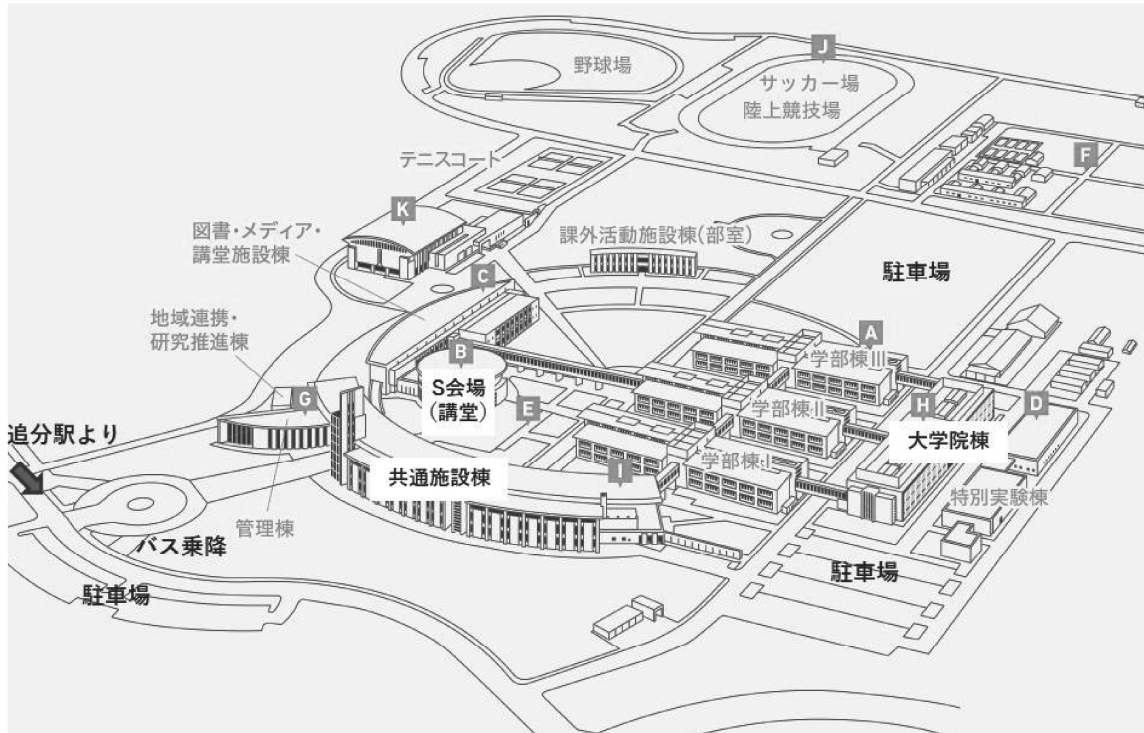
・秋田県立大学秋田キャンパスマップ

〈会場内の配置〉

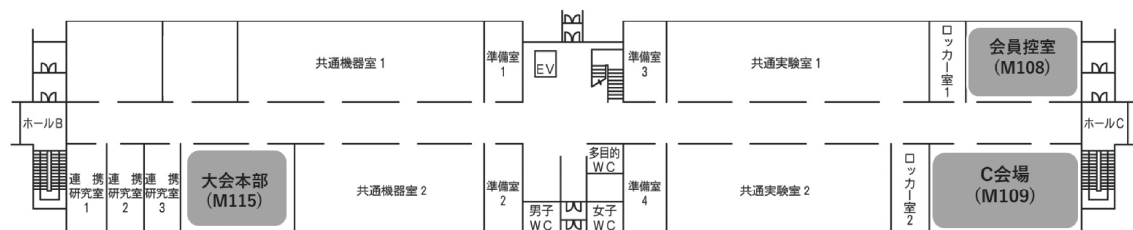
B：講堂（会員総会，受賞者講演）

H：大学院棟（一般講演，ミニシンポジウム，大会本部）

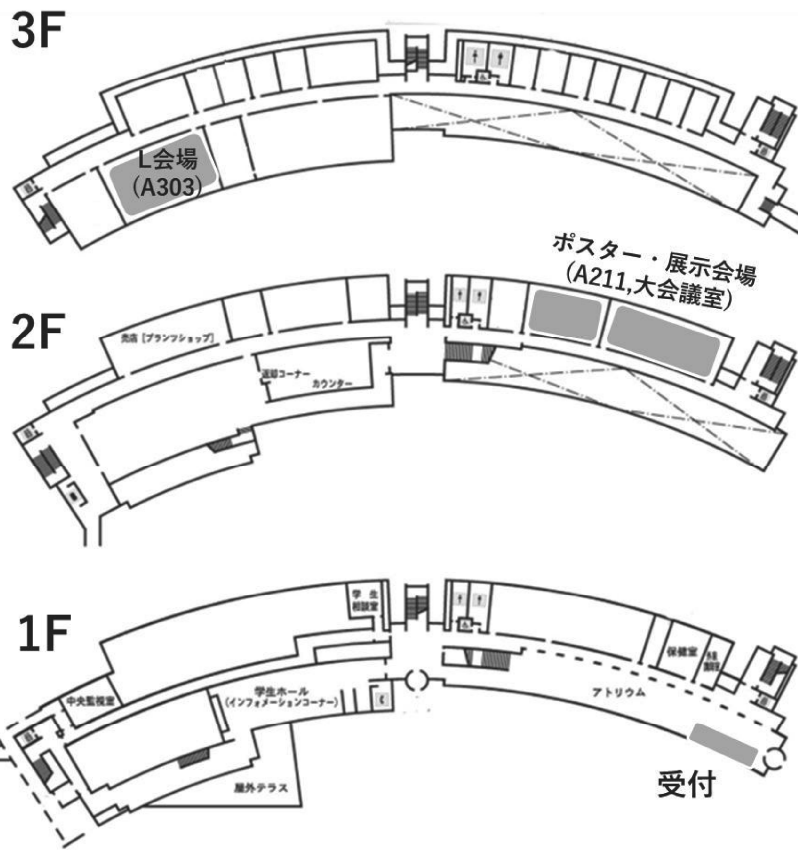
I：共通施設棟（受付，ポスター発表，企業展示，ランチョンセミナー）



大学院棟 1F



共通施設棟



第 65 回大会プログラム (概要版)

時間	A 会場 (大学院棟 2 階 M216)	B 会場 (大学院棟 2 階 M204)	C 会場 (大学院棟 1 階 M109)	S 会場 (講堂)	ポスター・展示会場 (共通施設棟 2 階)	
8:50 ~	受付 (共通施設棟 1 階) → 午前 11 時から大会本部 (大学院棟 1 階 (M115))					
9:50 ~ 11:50	一般講演 8 題	一般講演 8 題	一般講演 8 題	閉場	ポスター・ 企業展示の準備	
12:00 ~	各種委員会 昼休み (ランチョンセミナーは共通施設棟 3 階 L 会場 (A303))				ポスター公開 企業展示	
13:00 ~ 14:00	閉場				コアタイム ポスター奇数番 (14 題) 企業展示	
	学内移動・休憩 (10 分)					
14:10 ~ 15:55	一般講演 7 題	一般講演 7 題	一般講演 6 題	閉場	ポスター公開 企業展示	
	学内移動・休憩 (20 分)					
16:15 ~ 16:50	閉場			会員総会 学会授賞式		
16:50 ~ 17:25				受賞者講演		
	移動 (大会バス 17:50 発)、JR 追分駅 (上り 18:08 発)					
19:00 ~	懇親会 (秋田キャッスルホテル)					
3月26日(木)						
時間	A 会場 (大学院棟 2 階 M216)	B 会場 (大学院棟 2 階 M204)	C 会場 (大学院棟 1 階 M109)	S 会場 (講堂)	ポスター・展示会場 (共通施設棟 2 階)	
8:50 ~	受付 (共通施設棟 1 階) → 午前 10 時から大会本部 (大学院棟 1 階 (M115))				ポスター公開	
9:30 ~ 10:30	閉場			閉場	コアタイム ポスター偶数番 (13 題) 企業展示	
	学内移動・休憩 (15 分)					
10:45 ~ 12:00	一般講演 5 題	一般講演 5 題	一般講演 4 題		ポスター公開 企業展示	
12:00 ~	昼休み	各種委員会				
13:00 ~ 14:30	ミニシンポジウム (雑草管理スマート)	閉場			ポスター・展示 撤去	
	休憩 (5 分)					
14:35 ~ 16:05	ミニシンポジウム (雑草ゲノミクス)					
	移動 (大会バス 16:20 発)、JR 追分駅 (上り 16:36 発)					
3月27日(金)						

ミニシンポジウム・一般講演プログラム（詳細版）

※発表者に○を付しています。

※講演番号の下に*が付された発表は、ベスト講演賞の選考対象（若手による発表）です。

3月26日(木)						
受付(秋田県立大学秋田キャンパス共通施設棟1階、午前11時から大学院棟1階大会本部)						
	A会場(大学院棟2階M216)	座長	B会場(大学院棟2階M204)	座長	C会場(大学院棟1階M109)	座長
9:50	1 水田畦畔に発生するナガエツルノゲイトウに対する除草剤等の除草効果 ○大橋 俊子, 生井 幸子(茨城県農業総合センター農業研究所)	岩本 啓己(新潟食料農業大学)	21* 西表島の水田に生育する植物の種組成を規定する要因 ○安野 凜 ¹ , 高岸 慧 ² , 山田 晋 ² (¹ 東農大・院農学, ² 東農大・農学)	下野 嘉子(京都大学)	41 濃度障害を利用した雑草防除技術の開発 ○佐々木 茂安(佐々木農業研究会)	市原 実(静岡大学)
10:05	2 ナガエツルノゲイトウに有効な除草剤体系処理後の水田における管理法及び畦畔防除体系の検討 ○山本 一浩 ¹ , 平井 達也 ¹ , 中村 充明 ¹ , 西川 康之 ¹ , 井原 希 ² (¹ 千葉県農林総合研究センター, ² 農研機構)		22 京都府のダイズおよびアズキ圃場における外来雑草の発生状況 ○羽根 沙苗 ¹ , 鴨志田 徹也 ² , 徳丸 晋虫 ² (¹ 京都府農林水産技術センター農林センター, ² 京都府農林水産技術センター生物資源研究センター)		42 ROS マーカー測定装置(ROS Field Master)を用いた植物の活性酸素に関連するパラメーターの測定と抑草剤の開発に利用できるアレロケミカルの評価 ○藤井 義晴 ^{1,2} , 早乙女 孝行 ³ , 竹下 勇輝 ³ , 三宅 親弘 ⁴ (¹ 鯉洲学園, ² 他感作用研究所, ³ 分光計器(株), ⁴ 神戸大)	
10:20	3 シズイを対象とした問題雑草一発処理剤の開発(第1報 生態および必要な除草期間の策定) ○佐々木 政彰 ¹ , 佐々木 康成 ² , 丸山 俊城 ³ (¹ 日本植物調節剤研究協会 東北研究センター, ² 日本植物調節剤研究協会 青森試験地, ³ 日本植物調節剤研究協会 長野試験地)		23 畦塗りした水田畦畔に発生する雑草の特徴 ○大場 伸一 ¹ , 藤井 義晴 ² , 本林 隆 ³ (¹ 大場技術士事務所, ² 鯉洲学園農業栄養専門学校, ³ 東京農工大学)		43 八升豆の有機栽培方法の確立と雑草を抑制する緑肥としての利用方法の検討 池田 素直, 平澤 朋美, ○藤井 義晴(鯉洲学園)	
10:35	4 シズイを対象とした問題雑草一発処理剤の開発(第2報 有効な除草剤の選定) ○佐々木 政彰 ¹ , 佐々木 康成 ² , 丸山 俊城 ³ (¹ 日本植物調節剤研究協会 東北研究センター, ² 日本植物調節剤研究協会 青森試験地, ³ 日本植物調節剤研究協会 長野試験地)		24 水田における耕起時期が春雑草の発生に及ぼす影響—初冬直播き開発のための基礎研究— ○稲垣 栄洋 ¹ , 吉永 梨紗 ¹ , 西川 浩二 ¹ , 下野 裕之 ² (¹ 静岡大・農, ² 岩手大・農)		44 特定外来生物オオバナミズキンバイにおける揮発性アレロパシーの検定 薩田 英里, ○高橋 秀典(東邦大・理)	
10:50	5* フラザスルフロン顆粒水和剤による松類における新たな雑草防除手段の提案 ○齊藤 良文 ¹ , 長 宏一 ² (¹ 石原産業株式会社, ² 石原バイオサイエンス株式会社)		25* オモダカにおける東西群間の明確な系統分化と繁殖特性の違い ○宮井 駿 ¹ , 一箭 翼 ² , 下野 嘉子 ¹ (¹ 京大・院農学, ² 京都府農林水産技術センター農林センター丹後農業研究所)		45 雑草種子および栽培用種子の発芽および生存能力にくん蒸処理が及ぼす影響の評価 ○赤坂 舞子 ¹ , 相馬 幸博 ² , 関根 大誠 ¹ , 太田 さくら ¹ , 大村 克己 ² , 土肥野 利幸 ² , 町田 真生 ² , 高橋 正和 ² , 小林 浩幸 ¹ (¹ 宇都宮大学 雑草管理教育研究センター, ² 日本くん蒸技術協会)	
11:05	6 三重県北勢地域における特定外来生物オオバナミズキンバイの侵入状況とフロルピラウキシフェンベンジル(通称:リンスコア™)による防除の可能性 ○大西 秀輝(コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社)	26* 穀物貿易を介して開花特性の異なるシロザが日本に侵入しているか? ○田中 伸一 ¹ , 松橋 彩衣子 ² , 下野 嘉子 ¹ (¹ 京大・院農学, ² 農研機構)	46 プラズマ水の組成解析とイヌビエの発芽促進効果 ○松尾 充啓 ¹ , 平松 嶺 ¹ , 大下 和真 ¹ , 大西 裕 ¹ , 眞銅 雅子 ² , 高木 大輔 ¹ , 冨永 達 ³ , 寺林 敏 ¹ (¹ 摂南大・農学, ² 大阪工大・工学部, ³ 京都大学)			
11:20	7* 水稻乾田直播栽培を活用した帰化アサガオ類に対する総合防除体系の検討 ○辻川 幹太 ¹ , 大野 礼成 ² , 山口 修 ¹ , 岩淵 哲也 ³ , 江嶋 亜祐子 ¹ (¹ 福岡県農林業総合試験場 筑後分場, ² 福岡県田川普及指導センター, ³ 福岡県農林業総合試験場)	27 輸入穀物に混入して日本に侵入した新外来種オニナギナタガヤ ○下野 嘉子 ¹ , 茨木 靖 ² , 勝山 輝男 ³ (¹ 京都大学・院農学, ² 徳島県立博物館, ³ 神奈川県立生命の星・地球博物館)	47 ヘアリーベッチのすき込みがヒロハフウリンハウズキの発生に及ぼす影響 ○徳丸 晋虫 ¹ , 榎田 誠司 ² , 小松 空也 ² , 北尾 基 ² (¹ 京都府農林水産技術センター, ² 京都府南丹農業改良普及センター)			
11:35	8 オモダカにおける非作用点変異型除草剤抵抗性の遺伝様式と実生のペンシルフロンメチル感受性への影響 ○太田 健介, 定 由直(住友化学株式会社)	28* 改正植物防疫法下における雑草検疫体制構築のための統合的検討—野生イネ <i>Oryza punctata</i> の体制構築事例から見えてきたもの— ○大島 理暉, 小林 浩幸, 赤坂 舞子(宇都宮大・雑草管理教育研究センター)	48* 水田畦畔の外来雑草ネズミムギはエンドファイトとの共生により種子捕食を回避するのか? ○田中 悠希, 町野 圭蔵, 市原 実, 山下 雅幸(静岡大・農学)			

12:00 ~ 13:00	昼休み / ランチョンセミナー (共通施設棟 3階 L会場 (A303) クロップライフジャパン) / A~C会場 各種委員会						
13:00 ~ 14:00	ポスター会場 (共通施設棟 2階) ポスター発表コアタイム (奇数番)、展示説明						
移動・休憩 (10分)							
	A会場 (大学院棟 2階 M216)	座長	B会場 (大学院棟 2階 M204)	座長	C会場 (大学院棟 1階 M109)	座長	
14:10 9 *	フルルプリミドールによって伸長が抑制されたイネ科草本はジベレリン処理で再び伸長を開始する ○石巻 有麻 ¹ , 大島 英樹 ¹ , 小木 曾 優紀 ² , 小林 浩幸 ² (1) 楠二子ノ一 緑化, ² 宇都宮大学雑草管理教育研究センター)	今泉 智通 (農研機構九州沖縄農業研究センター)	29 *	植物種ごとに取得したパラメータにもとづく作物-雑草競合モデル (プロトタイプ) ○櫻井 優香里, 黒川 俊二 (京都大・院農学)	49 *	微生物除草剤の再考: 牧草地における選択的・抑制的雑草管理技術としての可能性 ○泉 真隆 (京都大・院農学)	稲垣 栄洋 (静岡大学)
14:25 10 *	帰化アサガオ類のつるの急伸長は、細胞分裂と細胞伸長の促進によって生じる ○小木 曾 優紀 ^{1,2} , 星 風吹 ³ , 赤坂 舞子 ^{1,2} , 小林 浩幸 ^{1,2} (1) 農工大・連合農学研究所, ² 宇都宮大・雑草管理教育研究センター, ³ 公財日本植物調節剤研究協会)		30	深層距離学習を用いた外来植物の画像分類 ○安田 泰輔 (山梨県富士山科学研究所)	50 *	ギシギシ類に病原性を示す微生物除草剤候補 <i>Teratoramularia rumicicola</i> の分離と除草活性評価 ○泉 真隆 ¹ , 佐藤 豊三 ² (1) 京都大・院農学, ² 新潟食農大)	
14:40 11 *	1節を有するナガエツルノゲイトウ断片の萌芽に及ぼす節間部の影響 ○植田 夏実, 井原 希, 小荒井 晃 (農研機構植物防疫研究部門雑草防除研究領域雑草防除グループ)		31 *	無人航空機 (UAV) による海岸砂丘のマツヨイグサおよびブタナの空間分布の検討 ○岩本 啓己, 和泉 南輝, 松本 辰也 (新潟食農大)	51 *	ギシギシ類に対する微生物除草剤候補 <i>Teratoramularia rumicicola</i> の成立史と自然宿主の再検討 ○泉 真隆 ¹ , 佐藤 豊三 ² (1) 京都大・院農学, ² 新潟食農大)	
14:55 12 *	湛水土中への埋没処理がナガエツルノゲイトウ茎断片の萌芽におよぼす影響 ○井原 希 ¹ , 植田 夏実 ¹ , 嶺田 拓也 ^{1,2} , 小荒井 晃 ¹ (1) 農研機構植物防疫研究部門, ² 農研機構企画戦略本部)	三浦 恒子 (秋田県農業試験場)	32	水稲有機栽培における自動抑草ロボットの抑草効果と作業性 ○池尻 明彦 ¹ , 寺下 知美 ² , 河崎 慎一郎 ² (1) 山口県農林総合技術センター, ² 山口県山口農林水産事務所)	52 *	マイクロフィブリルセルロース (MFC) による雑草抑制技術の開発 ○瀧田 萌 ¹ , 大山 智子 ² , 佐藤 崇紀 ³ , 稲垣 栄洋 ¹ (1) 静岡大学, ² 日本製紙, ³ 伊藤園)	泉 真隆 (京都大学)
15:10 13 *	新規水稲用除草剤イブトリアゾピリド (ライゾニック [®]) の生物活性に関する研究 ○石塚 隼也, 宮崎 隆雄, 古橋 孝将, 矢野 哲彦, 宮角 裕喜, 佐伯 学 (日産化学株式会社)		33 *	長野県の砂壤土水田における水田用自動抑草ロボット及び乗用除草機による雑草抑制効果 ○望月 崇史 ¹ , 宮原 薫 ¹ , 青木 政晴 ¹ , 浅川 拓郎 ² (1) 長野県農業試験場, ² 株式会社あつみのうか浅川)	53	マイクロフィブリルセルロース (MFC) と有機資材を組み合わせた雑草抑制効果の検証 ○稲垣 栄洋 ¹ , 瀧田 萌 ¹ , Sourav Tanvir Ahmad ¹ , 大山 智子 ² , 梅尾 直樹 ³ (1) 静岡大・農, ² 日本製紙, ³ 日本オーガニック)	
15:25 14	剤型の異なる水稲用除草剤 (1キログラム剤, フロアブル剤および自己拡散型浮遊剤) の水面投入後における有効成分の水中鉛直分布の経時変化 ○徐 錫元 ¹ , 丸山 啓輔 ² (1) (元) 協友アグリ, ² 協友アグリ)		34	水田抑草ロボット「アイガモロボ」が発生する水中波はスクミリンゴガイのイネ摂食行動を抑制する ○吉岡 俊人 ¹ , 笹川 幸太郎 ¹ , 讃岐 太貴 ¹ , 吉田 裕美 ¹ , 藤崎 栞奈 ¹ , 中村 哲也 ² , 佐藤 隆史 ³ (1) 新潟食料農業大学, ² 株式会社 NEWGREEN, ³ 有限会社 中条農産)	54 *	EVALUATION OF THE WEED SUPPRESSION EFFECT OF MICROFIBRILLATED CELLULOSE MIXED WITH HERBICIDES ○SOURAV TANVIR AHMAD ¹ , 大山 智子 ² , 稲垣 栄洋 ¹ (1) 静岡大学, ² 日本製紙株式会社)	
15:40 15	市販水稲用除草剤の現地普及試験における目視薬害調査判定「無」の収量の意義 ○徐 錫元 ((元) 協友アグリ)	35 *	Growth response of <i>Egeria densa</i> to polyvinyl alcohol (PVA)-based ribbon-shaped contact-material mesh sizes for optimized biomass recovery ○Assogba Cedric, 中嶋 佳貴 (岡山大学大学院環境生命自然科学研究科)	閉場			
休憩・移動 (20分)							
16:15 ~ 16:50	S会場 (講堂) 会員総会 学会賞授賞式						
16:50 ~ 17:25	S会場 (講堂) 受賞者講演						
移動 (大会バス 17:50 発、JR 追分駅 18:08 発)							
19:00	懇親会 (秋田キャッスルホテル)						

3月27日(金)									
8:50	受付(秋田県立大学秋田キャンパス共通施設棟1階、午前10時から大学院棟1階大会本部)								
9:30 ~ 10:30	ポスター会場(共通施設棟2階) ポスター発表コアタイム(偶数番)、展示説明								
移動・休憩(15分)									
	A会場(大学院棟2階M216)	座長	B会場(大学院棟2階M204)	座長	C会場(大学院棟1階M109)	座長			
10:45	16* 長野県における雑草イネ広域発生調査による空間分布特性の評価 ○三尾 建斗 ¹ , 小浜 由彦 ² , 青木 政晴 ² , 渡邊 修 ³ (¹ 信州大学 大学院 総合医理工学研究科, ² 長野県 農業試験場, ³ 信州大学 農学部)	赤坂	36 産地を異にする雑種サヤヌカグサ(仮称)の初期生育の特徴一同県産のエゾノサヤヌカグサとの対比に着目して— ○森田 弘彦(元公財日本植物調節剤研究協会, 元秋田県立大学)	宮浦	55* 身近な雑草であるカラムシを用いた体験学習の実践 ○宗近 眞子 ¹ , 望月 基希 ² , 藤本 勇二 ³ , 稲垣 栄洋 ¹ (¹ 静岡大学, ² 静岡農業高校, ³ 武庫川女子大学)	露崎 浩(秋田県立大学)			
11:00							17 出芽動態モデルにもとづく雑草イネ防除体系の設計 ○今泉 智通(農研機構)	37 兵庫県南部に生育する <i>Eleusine africana</i> Kenn.-O'Byrne(仮称アフリカオヒシバ) ○定 由直, 川又 栄美, 井上 惇之(住友化学(株))	56* カラムシの挿し木増殖技術の検討 ○宗近 眞子, 稲垣 栄洋(静岡大学)
11:15							18* 茨城県県南地区での水稻における省力的雑草イネ防除対策の確立 ○雨宮 史典, 山下 未玖(協友アグリ株式会社)	38* 武庫川河川敷で見られるオヒシバ属の多様性と発見した種間雑種の特性 ○井上 惇之, 定 由直(住友化学株式会社)	57* 飾りじゃないのよ花木は一近代学校における儀礼空間の装飾配置にみる, 植物の利用とその象徴的効果— ○横山 詢(東京大・院学際情報学府)
11:30	19* 北海道の乾田直播圃場におけるタイヌビエの深度別発生消長 ○畑中 良太, 古原 洋, 若木 修(ホクサン株式会社)	松嶋 賢一(東京農業大学)	39 日本国内におけるオヒシバ(<i>Eleusine indica</i>)変異系統の出現とグリホサート抵抗性 ○宮浦 理恵, 杉山 礁(東京農大・国際)	定 由直(住友化学株)	58 鯉洲学園構内で採取した雑草の販売と雑草ビジネスへの展開 蓮田 怜央, 平澤 朋美, ○藤井 義晴(鯉洲学園)				
11:45							20 北海道の猛暑年におけるタイヌビエの生育・出穂について ○古原 洋, 畑中 良太, 若木 修(ホクサン株式会社)	40* 農耕地における鳥類の土地利用特性と雑草種子散布への関与の可能性 ○大岡 千紗 ¹ , Goshami Gorachad ¹ , 伊藤 蘭 ¹ , 設楽 俊之 ² , 朝倉 俊治 ² , 稲垣 栄洋 ¹ (¹ 静大・農, ² 日本野鳥の会・静岡支部)	閉場
12:00	昼休み / B会場およびC会場 各種委員会								
13:00	A会場(大学院棟2階M216) ミニシンポジウム(雑草管理スマート)								
14:30	休憩(5分)								
14:35	A会場(大学院棟2階M216) ミニシンポジウム(雑草ゲノミクス)								
16:05	終了								

ポスター発表 演題・発表者（説明者）一覧

※発表者に○を付しています。

※講演番号の下に*が付された発表は、ベストポスター賞の選考対象（若手による発表）です。

奇数番号コアタイム 3月26日(木) 13:00~14:00		偶数番号コアタイム 3月27日(金) 9:30~10:30	
P01	芝地に発生するヒメグク類のMIG-seq法によるゲノムワイド解析 別府 孟 ¹ , 鈴木 良祐 ² , 立原 和真 ² , 岩田 卓也 ² , 小林 浩幸 ¹ , ○赤坂 舞子 ¹ (1宇都宮大学 雑草管理教育研究センター, 2(株) 理研グリーン)	P02 *	冬作にカバークロープを導入したダイズ栽培における管理体 系ごとの雑草種組成の比較 ○植村 風友 ¹ , 渡邊 芳倫 ¹ , 浅井 元朗 ² , 黒沢 高秀 ³ , 好野 奈 美子 ² , 木幡 裕介 ² , 山ノ内 崇志 ³ , 金子 信博 ⁴ (1福島大学・ 食農学類, 2農研機構, 3福島大学・共生システム理工学類, 4島根大学・生物資源科学部)
P03 *	小型 UAV を活用した飼料用トウモロコシ畑のアレチウリの 早期検出とマップ作成 ○清野 想, 渡邊 修 (信州大学農学部)	P04 *	エノコログサ属3種の種構成と土地利用の関係 ○深谷 公紀, 深野 祐也 (千葉大・院園芸学)
P05	水田における表層剥離の発生に関する研究 ○露崎 浩, 小柳 雄太郎 (秋田県大・生物資源)	P06 *	東北で近年見つけた半直立型四倍体ヒユ属植物の生態的特 性: 水分条件に対する反応と生育地環境 ○池田 ひかり ¹ , 久保 朋美 ¹ , 保田 謙太郎 ² , 黒川 俊二 ¹ (1京 都大・農, 2秋田県立大)
P07	絶滅危惧種アゼオトギリの三重県自生地での10年間のモニ タリング調査報告~河川敷でのアゼオトギリの生態特性~ ○田中 克幸 ¹ , 寺西 夏也乃 ¹ , 宮 映日 ¹ , 平山 大輔 ² , 吉岡 俊 人 ³ (1(株) 建設環境研究所, 2三重大・教育, 3新潟食料農業大)	P08 *	作物が雑草化すると根の発達はどのように変化するのか: 雑 草イネと栽培イネの隣株への反応の比較 ○丸山 紀子 ¹ , 中野 明正 ¹ , 今泉 智通 ² , 深野 祐也 ¹ (1千葉大・ 園芸, 2農研機構・九州沖縄農業研究センター)
P09	水田多年生雑草 雑草サヤヌカグサ (仮称) とエゾノサヤヌカ グサの葉耳の着色による識別点の再検討 ○森田 弘彦 (元公財日本植物調節剤研究協会, 元秋田県立大 学)	P10 *	帰化アサガオ類のつるの急伸長はジベレリンにより制御され ているか ○小木曾 優紀 ^{1,2} , 石巻 有麻 ³ , 星 風吹 ⁴ , 赤坂 舞子 ^{1,2} , 謝 肖 男 ⁵ , 小林 浩幸 ^{1,2} (1農工大院・連合農学研究科, 2宇都宮大・ 雑草管理教育研究センター, 3株式会社ニチノ緑化, 4公財 日本植物調節剤研究協会, 5宇都宮大・バイオサイエンス教育 研究センター)
P11 *	カロライナツユクサの種子発芽動態 ○松元 愛純, 松尾 光弘 (宮崎大学農学部)	P12 *	新たに確認された変異型オヒシバの地上部および種子形態形 質の多様性 ○吉川 遥, 大橋 佑二郎, 宮浦 理恵 (東京農大・国際)
P13 *	牛ふん堆肥を資材として用いた水稲有機栽培における水稲と 雑草の窒素競合 ○森 みのり, 田島 亮介, 小島 創一, 西田 瑞彦 (東北大・院 農学研究科)	P14 *	オヒシバ変異系統における生育の温度反応性 ○齊藤 さくら, 宮浦 理恵 (東京農大・国際)
P15	植栽したチガヤの生育に及ぼす混植と施肥の効果 ○松嶋 賢一, 鈴木 悠太, 山田 晋 (東京農業大学農学部)	P16	耕起の有無および除草の有無が夏期栽培トウモロコシの生育 および地温に与える影響 ○宮川 歩, 岩崎 泰永 (明治大学農学研究科)
P17	草マルチが畑地の生物多様性に与える生態的影響 新木 頌麻 ¹ , 大喜多 真奈 ¹ , 大西 佑紀 ² , ○大西 信弘 ¹ (1京都 先端科学大学・バイオ環境学部・生物環境科学科, 2レカボラ 編集舎)	P18	エンマコオロギおよびオカダンゴムシによる雑草種子の被食 散布の評価 ○市原 実, 黒川 和輝, 中村 祥吾, 町野 圭蔵, 山下 雅幸, 澤 田 均 (静岡大・農)
P19 *	ドローン空撮と深層学習を使用した水田におけるナガエツル ノゲイトウの検出 ○谷岡 庸介 ¹ , 木村 優世 ² , 篠原 健吾 ² , 栗田 英治 ² , 渡部 恵 司 ² , 大石 優 ³ (1農研機構・農業環境研究部門, 2農研機構・ 農村工学研究部門, 3農研機構・農業情報研究センター)	P20 *	ダイズ畑における短期湛水によるアメリカアサガオの防除効 果に影響を与える要因の解明 ○藤原 伸彰, 岩橋 優, 井上 博茂, 中野 龍平, 黒川 俊二 (京 都大・院農学)
P21 *	冬野菜栽培におけるレンゲ被覆が雑草発生に及ぼす影響 ○瀧田 萌 ¹ , Gorachad Gosham ² , 稲垣 栄洋 ¹ (1静岡大学, 2岐阜連合大学院)	P22	宮崎県岩瀬ダムで繁茂するボタンウキクサ (<i>Pistia stratiotes</i> L.) の発生生態 山川 恵儀, 加治屋 るのあ, ○山口 健一 (南九州大・環境)
P23	日本国内におけるアレチウリ群落と同所に生育する希少植物 の把握 ○吉村 泰幸 (農研機構農業環境研究部門)	P24 *	雑草種子および栽培用種子の発芽に熱処理が及ぼす効果の検証 ○加藤 誠士郎, 小林 浩幸, 赤坂 舞子 (宇都宮大学雑草管理 教育研究センター)
P25 *	霞ヶ浦湖岸におけるナガエツルノゲイトウ定着に関わる環境 要因の解析 ○倉光 太一, 吉村 泰幸, 伊藤 健二, 片山 直樹 (国立研究開 発法人農業・食品産業技術総合研究機構)	P26 *	ヒメタイヌビエにおけるシハロホップブチル代謝遺伝子の分 子特性解析 ○中ノ森 月菜 ¹ , 鈴木 倫太郎 ² , 岩上 哲史 ¹ (1東京農工大学, 2農研機構)
P27 *	Genomic insights into metabolic resistance in <i>Echinochloa phyllopogon</i> ○SU DANRUI ¹ , Toh Hidehiro ² , Toyoda Atsushi ² , Yasuda Kentaro ³ , Sato Mitsuhiko P. ⁴ , Iwakami Satoshi ¹ (1東京農工大学, 2国立遺伝学研究所, 3秋田県立大学, 4かずさDNA研究所)		

日本雑草学会第 65 回大会運営委員会

大会運営委員長	露崎 浩 (秋田県立大学生物資源科学部)
大会幹事	保田謙太郎 (秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター)
運営委員	川名 義明 (東北農業研究センター)
	飯塚悠莉子 (秋田県農業試験場)
	三浦 恒子 (秋田県農業試験場)
	佐々木麻衣子 (秋田県雄勝地域振興局)
	由利奈美江 (秋田県畜産試験場)
	鶴谷 明宇 (日本植物調節剤研究協会)
	加藤祐一郎 (全国農業協同組合連合会 秋田県本部)
	佐々木 透 (全国農業協同組合連合会 秋田県本部)
	神田 啓臣 (秋田県立大学生物資源科学部)
	曾根 千晴 (秋田県立大学生物資源科学部)
	永澤 信洋 (秋田県立大学生物資源科学部)
	山本 聡史 (秋田県立大学生物資源科学部)
大会担当庶務幹事	早川 宗志 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)
広報担当庶務幹事	松尾 光弘 (宮崎大学農学部)

共 催

公立大学法人 秋田県立大学

助 成

公益財団法人秋田観光コンベンション協会

協 賛

クロップライフジャパン

秋田県植物防疫協会

全国農業協同組合連合会秋田県本部

協友アグリ株式会社

クミアイ化学工業株式会社

北興化学工業株式会社